

線引き凍結 さもなくば 政令市を断念すべき



民主党神奈川16区総支部長 ごとう祐一

合併時の隠蔽と約束

旧藤野・相模湖・津久井町住民にとって損なことばかりの「線引き」（豆知識参照）が強行されようとしています。合併協議の際には、線引きという極めて重大な話にはほとんど触れず、隠されていたのが実態です。

合併前の旧相模原市と旧四町との間の正式な約束「合併協議書」においては、「（線引き）については、土地利用の規制の急激な変化を避けるため、現行のまま新市に引継ぎ、住民の意向を踏まえたなかで、合併後の新市において検討する」とされています。住民意向を踏まえない線引き強行は約束違反です。

四千人の署名を無視

「住民の意向」について、五月末には旧藤野町二一三〇名、旧相模湖町約一七〇〇名の署名を集めた線引き凍結を求める陳情書が提出されました。しかし、相模原市役所は「説明会を行った」の一点張りです。住民の意向を調べようとすらしないまま、二〇一〇年三月までの線引き完了に向けて着実に手続を進めています。

激変緩和措置に騙されるな

線引き後の市街化区域で固定資産税等が急激に上がることを避けるため、相模原市は激変緩和措置を講ずることを考えているようです。市街化区域になっても農地を生産緑地に指定すると固定資産税等が安くなりますが、都市計画税は免れることはできません。また、五〇〇㎡以上、三〇年間農業継続といった厳しい条件がつけます。また、生産緑地の指定ができない土地に対しては支援策を講じるといったことも考えているようですが、財政逼迫が予想される将来の予算については危険です。「激変緩和措置」に騙されてはいけません。

衆院議員と相模原市役所

この地区選出の衆院議員が相模原市長に提出した要望書では、「（線引き）の導入が不可避である場合、激変緩和措置を講じられることを要望いたします」と、相模原市役所の考えに沿った内容となっており、初めからあきらめの姿勢です。

政令市と線引きの関係

私は、二月以来、松沢神奈川県知事、相模原市の副市長、線引きの担当部長らに対し線引き凍結を要望してまいりました。また、国の政府に対しても、民主党の水戸将史参議院議員を通じて、仮に政令市になっても線引きしない方法はないか質問してきました。しかし、政令市になったら線引きはやがて避けられないようです。逆に、政令市にならないければ線引きをする義務はありません。

政令市は断念すべき

私は、線引きが避けられないなら政令市になるのを断念すべきと考えます。ただでさえ、政令市になると千数百億円とも言われる神奈川県の借金が相模原市にツケ回しされると言われています。大雑把に言えば、相模原七十万市民全員が約二十万円の借金を背負って政令市という名譽を買うべきかどうかという問題です。市民に分かりやすい形で相模原全市ベースで大議論すべきです。

政令市強行なら三町独立

それでも政令市を目指し

て線引きを強行するのであれば、旧三町だけでも再度独立を目指すことを検討すべきではないでしょうか。但し、これは旧三町の住民でよく議論した上で結論を出す必要があります（長野県宮田村などの例あり）。

役人と戦うのが政治家

行政が国民の意向に反した振る舞いをしているとき、政治家は断固として国民の味方となって役人や既存の秩序と戦えるかどうかが問われます。

私は、線引き凍結はもちろん、天下り全廃、ムダ遣い廃止など、国民のために役人と戦う政治家を目指します。

豆知識

「線引き」＝「市街化区域」と「市街化調整区域」に分けること。
「市街化区域」＝10年以内に市街化を計るべき区域。都市計画税が新たに課税され、固定資産税や相続税が大幅に増税される。
「市街化調整区域」＝開発を抑制すべき区域。宅地開発などが困難となり、資産価値は大幅に下落します。

5/31(土) 鳩山由紀夫幹事長を迎えて本厚木駅北口街頭討論会を行いました!



雨の直後の寒い土曜の夜7時にもかかわらず、約500人の皆様にお集まりいただきました。ありがとうございます。

一人一人順番に演説をする通常の演説会とは異なり、鳩山幹事長と笠ひろふみ民主党神奈川県連代表(党副幹事長)の2人に対し、私が質問をする討論会の形で行いました。

(ごとう) 9月に行われる民主党代表選は誰が出るんですか?

(鳩山) 私が出ます。と言いたい所ですが...

(ごとう) 高齢化で足りなくなるお金はどうするんですか?

(鳩山) まずは無駄遣いをなくすことが先決ですが、消費税の前に、たばこ税を上げることも考えられるのでは。

といった、答えにくいけど国民が知りたいことをストレートに聞く討論会となりました。また、お集まり頂いた方々からも質問を頂き、障害者政策についての民主党の考え方、アフリカ支援の是非など鋭い質問を頂きました。

※討論会の詳細は動画にて後日アップ予定です。[<http://jitsugen.jp>]

7/6(日) 松沢知事県政報告会及びごとう祐一と日本を良くしたい人たちの集い

満員御礼! 1000人が参加

知事との討論会では、安心できる年金や医療にかかるお金を賄うため①政治家が身を切り(議員数を減らす)②公務員が身を切り(天下り禁止+特殊法人全廃)、③お金持ちが身を切る(高所得者の所得税上げ)、それでも足りなければ2010年代に消費税を上げざるを得ませんが、生鮮食料品は5%に据え置くべきと持論を述べました。

また、ムダ全廃は居酒屋タクシーなど不正を無くすだけでは全然足りず、林道・水道・ダムといった何兆円単位のムダを具体的に無くせるかがポイントです。政権交代したら、まず最初の1ヶ月で「天下り禁止法」を通すべきと考えます。



松沢知事 ごとう祐一 小林厚木市長



ごとう 祐一プロフィール

昭和44年 横浜市生まれ
 昭和59年 相模原市立上総岡中学校卒業
 昭和62年 神奈川県立厚木高校卒業
 平成4年 東京大学法学部卒業後、通商産業省入省(現経済産業省)
 平成10年 スタンフォード大学客員研究員
 平成11年 カナダ政府外務貿易省勤務(FTA担当)
 平成17年 13年間勤めた経済産業省を退職
 平成18年 衆議院補欠選挙で当選(80,450票対109,464票)

現在 妻、息子、娘の4人家族。
 厚木市旭町在住。39歳。



民主党神奈川16区総支部長

ごとう祐一

ごとう祐一事務所

〒243-0017
 厚木市栄町2-4-28-212

TEL046-296-2411

FAX046-296-4811

MAIL office@jitsugen.jp

ホームページ <http://jitsugen.jp>